

2026年度第1四半期 決算補足資料

2026年8月7日

DOWAホールディングス株式会社

2026年度1Qは、金属価格・為替の相場好転などを背景に、製錬部門を中心として大幅増益となりました。一方、需要面は概ね想定通りに推移したことから、業績予想は据え置きました。

2026年度1Q実績

- ・ 金属価格や為替の相場好転により、前年同期比で売上高+58%、営業利益+281%、経常利益+278%となった
- ・ 需要動向は、新エネルギー関連が期初想定を上回る進捗となるも、その他は期初の想定並みであった
- ・ 銀価格の下落に伴う期末在庫評価益(ヘッジ取引評価益)を計上し、製錬部門の収益を押し上げた(P9参照)

業績予想

- ・ 2Q以降は、金・銀・プラチナなど貴金属の価格が下落基調にあることに加えて、自動車関連需要の減退や資材単価の上昇などが継続しており、事業環境の先行きは不透明感が増している
- ・ これらを踏まえ、2026年度の業績予想については、期初予想を据え置きとした

トピックス

- ・ 環境・リサイクル部門：低濃度PCB廃棄物の減少を難処理廃棄物の処理増でカバー、溶融・再資源化は需要堅調
- ・ 製錬部門：ティサパ鉱山が通常操業を継続、亜鉛や銀の相場上昇メリットを確実に収益化
- ・ 電子材料部門：銀粉の販売量が回復、AIデータセンタ(燃料電池)向け複合酸化物粉の販売が増加

連結損益計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2025年度		2026年度		増減			
	1Q	通期	1Q	通期予想	1Q		通期	
売上高	1,601	7,454	2,533	9,410	932	58%	1,955	26%
営業利益	64	341	247	530	182	281%	188	55%
経常利益	86	543	325	800	239	278%	256	47%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	64	624	234	570	170	266%	△ 54	△ 9%

為替・金属価格

※2026年度の通期予想は、2026年5月14日の公表値から変更はありません。

	2025年度		2026年度			
	1Q平均	通期平均	1Q前提	1Q平均	2Q以降前提	通期平均
為替：(円/\$)	144.6	150.8	155.0	159.5	155.0	156.1
銅：(\$/t)	9,519	10,816	12,000	13,324	12,000	12,331
亜鉛：(\$/t)	2,641	2,968	3,100	3,463	3,100	3,191
インジウム：(\$/kg)	376	423	600	698	600	625



事業環境(2026年度1Q)

需要動向	環境・リサイクル関連	・国内における廃棄物処理及びリサイクルの受注は堅調 ・東南アジアでは、インドネシアにおける廃棄物処理の受注が増加
	自動車関連	・自動車の生産は総じて堅調であったことから、関連製品・サービスの受注・販売は増加
	新エネルギー関連	・太陽光パネル向け銀粉や燃料電池向け複合酸化物粉の販売が増加
	情報通信関連	・AIサーバー向け需要は堅調も、製品の薄板化が進展したことから販売量は前年同期並み
相場環境	・平均為替レートは、前年同期比で円安ドル高で推移 ・ベースメタルや金、銀及びPGM(白金族金属)等の貴金属の平均価格は、前年同期比で上昇	
コスト	・電力代等のエネルギーコストは前年同期比で減少も、製錬原料の購入条件は悪化 ・賞与の増加などにより人件費が上昇、中東情勢を受けて資材単価が上昇	

※2025年度1Qを100として指数化

			2025年度				2026年度
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
	環境・リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	93	99	91	104
		家電リサイクル処理台数	100	100	101	92	100
		東南アジア廃棄物処理額	100	107	125	118	105
	製錬	リサイクル原料取扱量 (小坂製錬)	100	87	97	92	104
		亜鉛生産量	100	88	95	112	95
	電子材料	LED販売量	100	122	95	85	94
		銀粉販売量	100	64	60	79	127
	金属加工	伸銅品販売量	100	104	108	105	105
	熱処理	熱処理加工売上高	100	107	108	110	106
		工業炉売上高	100	145	108	202	136

セグメント別損益 前年比

単位:億円(億円未満切捨て)

	2025年度 1Q			2026年度 1Q			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	489	39	36	652	43	40	162	3	4	【+】 溶融・再資源化の処理増 【+】 金属価格の上昇 【△】 人件費の増加
製 錬	742	19	36	1,257	156	228	515	136	192	【+】 金属価格の上昇、円安の進展 【△】 製錬原料の購入条件の悪化 【+】 在庫評価損益(低価法・ヘッジ取引)の改善 【+】 鉱山関連収入の増加
電 子 材 料	226	△ 9	△ 5	520	15	20	294	25	26	【+】 新製品向け近赤外LED・PDの増販 【+】 太陽光パネル向け銀粉の増販 【+】 在庫評価損益(低価法)の改善 【+】 磁性粉、複合酸化物粉の増販
金 属 加 工	330	9	7	465	26	27	134	17	19	【+】 自動車関連製品・サービスの増販 【+】 銅価格上昇による採算改善(一過性要因) 【△】 人件費の増加、資材単価の上昇
熱 処 理	73	1	2	84	1	2	10	△ 0	△ 0	【+】 国内の自動車関連製品・サービスの需要増 【+】 新炉受注の増加 【△】 人件費の増加、資材単価の上昇
そ の 他 全 社 ・ 消 去	△ 261	4	8	△ 446	4	5	△ 184	0	△ 3	－
合 計	1,601	64	86	2,533	247	325	932	182	239	



経常利益の要因別分析

単位:億円(億円未満切捨て)

2026年度1Q - 2025年度1Q	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	10	△ 1	17	9	3	0	40
差量収入(数量差)	－	△ 3	－	－	－	－	△ 3
差量収入(金属価格差)	－	78	－	－	－	－	78
差量収入ほか(為替差)	－	20	－	－	－	－	20
金属価格差・為替差(製錬部門を除く)	7	－	3	15	－	－	27
原料代(原料購入条件差)	－	△ 10	－	－	－	－	△ 10
電力代	－	3	－	－	－	－	3
在庫評価損益	△ 2	54	5	△ 0	－	1	57
低価法	△ 5	11	5	0	－	1	12
ヘッジ取引	2	43	－	△ 0	－	－	45
製造原価(減価償却費他)・販管費・開発研究費	△ 12	△ 8	△ 1	△ 7	△ 3	△ 1	△ 35
営業利益増減	3	136	25	17	△ 0	0	182
営業外損益	0	55	1	2	0	△ 3	56
鉱山関連(持分法投資損益・ロイヤリティなど)	－	61	－	－	－	－	61
有償サンプル代収入	－	－	△ 0	－	－	－	△ 0
為替差など	0	△ 6	2	2	0	△ 3	△ 4
経常利益増減	4	192	26	19	△ 0	△ 3	239



在庫評価損益、持分法投資損益

在庫評価損益

単位:億円(億円未満切捨て)

部門	区分	2025年度					2026年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
製錬	低価法	△ 8	△ 9	△ 17	△ 4	△ 40	3	—	—	—	3
	ヘッジ取引	0	△ 32	△ 42	64	△ 9	43	—	—	—	43
	計	△ 7	△ 42	△ 59	59	△ 49	46	—	—	—	46
金属加工	低価法	0	—	—	△ 0	△ 0	0	—	—	—	0
	ヘッジ取引	△ 3	△ 0	△ 6	13	2	△ 3	—	—	—	△ 3
	計	△ 2	△ 0	△ 6	12	2	△ 2	—	—	—	△ 2
その他	低価法	0	0	0	△ 4	△ 2	1	—	—	—	1
	ヘッジ取引	1	△ 3	0	6	4	4	—	—	—	4
	計	1	△ 3	0	2	1	5	—	—	—	5

持分法投資損益

単位:億円(億円未満切捨て)

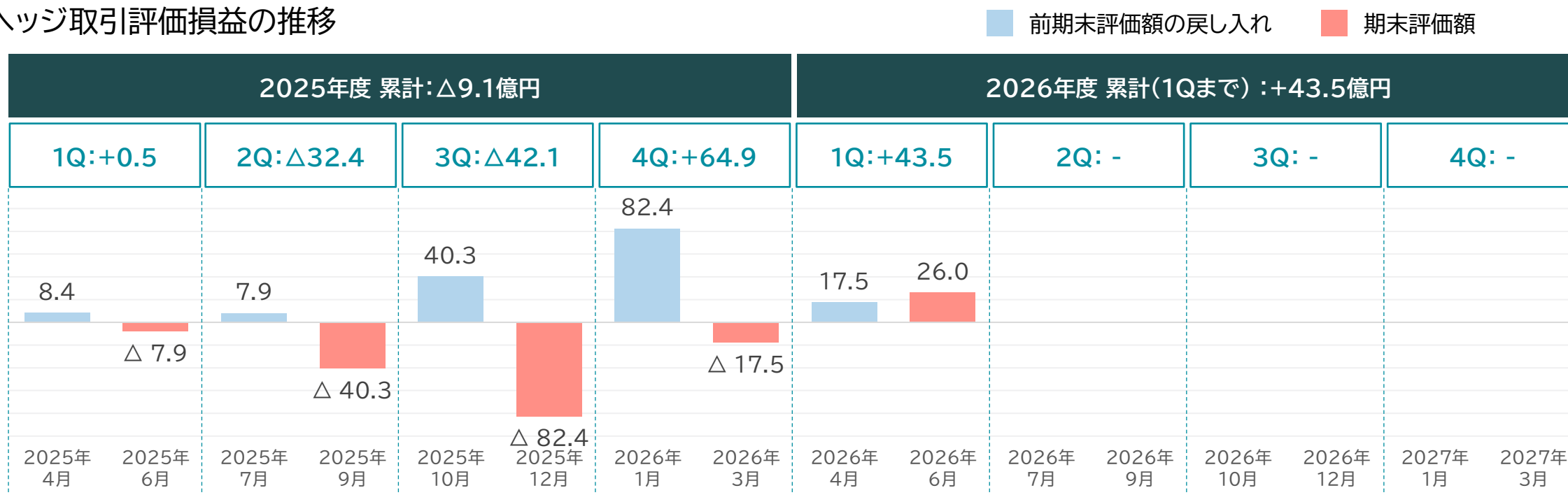
部門	区分	持分比率	2025年度					2026年度				
			1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
製錬	ティサバ鉱山	39%	△ 1	△ 6	1	33	26	35	—	—	—	35
	ロス・ガトス鉱山	30%	14	16	31	38	101	34	—	—	—	34
その他	-	-	2	2	3	16	25	△ 6	—	—	—	△ 6
合計			16	12	35	88	152	62	—	—	—	62

・当社グループの連結会計期間は4～3月であります。ティサバ鉱山／ロス・ガトス鉱山の会計期間は1～12月の為、1四半期遅れで反映しています。

○ (参考) 製錬部門におけるヘッジ取引評価損益について

- ・ 1Q末にかけて銀の価格が下落したことなどから、2026年度1Qの期末評価額は+26.0億円となった
- ・ 前期末評価額の戻し入れを含めた、1Q期間のヘッジ取引評価損益は総額+43.5億円(前年同期比+43.0億円)となった

ヘッジ取引評価損益の推移



- ・ 当社グループは棚卸資産を対象に、金属価格や為替の相場変動リスクを回避するためヘッジ取引を行っています
- ・ ヘッジ取引は原則として、毎四半期末に時価評価を行い、その結果に基づいて会計処理を行います
- ・ このとき、ヘッジ会計が適用できない一部取引は、評価差額をヘッジ取引評価損益として損益計上します(期末評価額)
- ・ 期末評価額は翌四半期初に同額の戻し入れを行い、期末に時価評価を行うというサイクルを繰り返します

2026年度 通期業績予想 セグメント別損益 前年比

単位:億円(億円未満切捨て)

	2025年度 実績			2026年度 予想(5/14公表)			増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	2,271	160	165	2,340	142	145	68	△ 18	△ 20
製錬	3,647	69	196	5,238	282	530	1,590	212	333
電子材料	1,045	△ 26	11	1,267	6	25	221	32	13
金属加工	1,473	93	97	1,690	72	71	216	△ 21	△ 26
熱処理	339	19	27	358	21	23	18	1	△ 4
その他 全社・消去	△ 1,324	25	44	△ 1,483	7	6	△ 158	△ 18	△ 38
合計	7,454	341	543	9,410	530	800	1,955	188	256

※2026年度の通期予想は、2026年5月14日の公表値から変更はありません。

2026年度 通期業績予想 セグメント別損益(上期・下期)

単位:億円(億円未満切捨て)

	2026年度 予想 上期			2026年度 予想 下期			2026年度 予想 通期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	1,132	67	66	1,208	75	78	2,340	142	145
製錬	2,475	129	251	2,763	153	279	5,238	282	530
電子材料	622	2	14	645	4	11	1,267	6	25
金属加工	830	31	30	860	41	41	1,690	72	71
熱処理	169	6	7	189	15	15	358	21	23
その他 全社・消去	△ 734	2	2	△ 749	5	4	△ 1,483	7	6
合計	4,494	237	371	4,916	293	429	9,410	530	800

※2026年度の通期予想は、2026年5月14日の公表値から変更はありません。

○ 前提条件・感応度(2026年度)

感応度(営業利益/年)

単位:億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	155.0 円/\$	±1円/\$	6.3
銅	12,000 \$/t	±100 \$/t	0.3
亜鉛	3,100 \$/t	±100 \$/t	4.6
インジウム	600 \$/kg	±10 \$/kg	0.7

※為替感応度の内訳は、製錬部門5.5億円、電子材料部門0.7億円です。

為替、金属価格

	2025年度		2026年度				(参考) 2026年 7月平均
	1Q平均	通期平均	1Q前提	1Q平均	2Q以降前提	通期平均	
為替:(円/\$)	144.6	150.8	155.0	159.5	155.0	156.1	162.6
銅:(\$/t)	9,519	10,816	12,000	13,324	12,000	12,331	13,525
亜鉛:(\$/t)	2,641	2,968	3,100	3,463	3,100	3,191	3,596
インジウム:(\$/kg)	376	423	600	698	600	625	774

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Appendix

○ ヒストリカルデータ

連結財務数値

単位:億円(億円未満切捨て)

		2024年度					2025年度					2026年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
合計	売上高	1,889	1,635	1,646	1,614	6,786	1,601	1,570	1,815	2,466	7,454	2,533	-	-	-	-
	営業利益	117	97	41	65	322	64	52	9	214	341	247	-	-	-	-
	経常利益	142	127	75	90	435	86	69	63	323	543	325	-	-	-	-
	親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	117	87	32	33	271	64	72	49	438	624	234	-	-	-	-
環境・リサイクル	売上高	442	418	466	474	1,801	489	504	611	665	2,271	652	-	-	-	-
	営業利益	41	35	37	24	139	39	28	53	37	160	43	-	-	-	-
	経常利益	45	32	44	27	149	36	25	59	43	165	40	-	-	-	-
製錬	売上高	729	600	651	681	2,663	742	718	887	1,299	3,647	1,257	-	-	-	-
	営業利益	43	40	△ 10	31	105	19	3	△ 61	108	69	156	-	-	-	-
	経常利益	52	69	6	42	171	36	7	△ 28	181	196	228	-	-	-	-
電子材料	売上高	600	423	359	264	1,648	226	186	228	403	1,045	520	-	-	-	-
	営業利益	8	1	△ 2	△ 13	△ 5	△ 9	△ 6	△ 13	2	△ 26	15	-	-	-	-
	経常利益	12	0	1	△ 11	3	△ 5	0	△ 3	19	11	20	-	-	-	-
金属加工	売上高	305	324	332	326	1,287	330	344	372	425	1,473	465	-	-	-	-
	営業利益	21	13	9	7	52	9	15	20	48	93	26	-	-	-	-
	経常利益	22	15	8	12	59	7	16	22	51	97	27	-	-	-	-
熱処理	売上高	70	80	78	108	337	73	86	79	99	339	84	-	-	-	-
	営業利益	1	4	5	10	21	1	5	3	8	19	1	-	-	-	-
	経常利益	3	3	6	8	21	2	8	5	10	27	2	-	-	-	-
その他、 全社・消去	売上高	△ 257	△ 210	△ 243	△ 240	△ 952	△ 261	△ 270	△ 365	△ 426	△ 1,324	△ 446	-	-	-	-
	営業利益	1	1	1	4	9	4	5	7	8	25	4	-	-	-	-
	経常利益	6	5	7	11	30	8	10	7	17	44	5	-	-	-	-

為替、金属価格

		2024年度					2025年度					2026年度				
		1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替:(円/\$)		155.9	149.4	152.4	152.6	152.6	144.6	147.5	154.1	156.9	150.8	159.5	-	-	-	-
銅:(\$/t)		9,751	9,204	9,178	9,346	9,370	9,519	9,792	11,100	12,852	10,816	13,324	-	-	-	-
亜鉛:(\$/t)		2,833	2,779	3,048	2,838	2,874	2,641	2,824	3,165	3,243	2,968	3,463	-	-	-	-
インジウム:(\$/kg)		324	370	341	353	347	376	355	367	593	423	698	-	-	-	-

相場実績

- ・ 為替は1Q平均159.5円/\$となり、前期同期比で円安ドル高の水準となった
- ・ 金属価格は、銅や亜鉛は上昇トレンドを継続したものの、1Qより金・銀・プラチナなどの貴金属は下落トレンドとなった

		2025年度					2026年度				
		1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替	円/\$	144.6	147.5	154.1	156.9	150.8	159.5	—	—	—	159.5
銅	\$/t	9,519	9,792	11,100	12,852	10,816	13,324	—	—	—	13,324
亜鉛	\$/t	2,641	2,824	3,165	3,243	2,968	3,463	—	—	—	3,463
インジウム	\$/kg	376	355	367	593	423	698	—	—	—	698
金	\$/oz	3,280	3,454	4,145	4,877	3,939	4,516	—	—	—	4,516
銀	\$/oz	33.6	39.4	54.8	84.4	53.1	73.4	—	—	—	73.4
プラチナ	\$/oz	1,073	1,384	1,675	2,207	1,585	1,922	—	—	—	1,922
パラジウム	\$/oz	991	1,170	1,469	1,714	1,336	1,415	—	—	—	1,415
ロジウム	\$/oz	5,453	6,770	7,912	10,790	7,731	9,282	—	—	—	9,282

資源がめぐる真ん中に。

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。